

「町民の生命と暮らしを守る」町独自支援策（第5弾）のお知らせ

上里町では、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた個人・世帯等に対し、第5弾の町独自支援策として、感染拡大の防止と住民の生活支援策を下記のとおり実施いたします。
今後も引き続き感染拡大防止に力を入れていきますので、町民の皆様のご協力よろしくお願いします。

上里町長 山下博一

1 家計応援事業

約1億903万円

◆ 水道料金の一部免除事業 約7,390万円

一般家庭・店舗併用住宅・事業所（公共施設は除く）の水道料基本料金4ヶ月分（令和4年11月～令和5年2月）を減免。

◆ 学校給食費臨時補助事業 約3,513万円

町内小中学校全児童・生徒（他の助成制度利用者を除く）の給食費4ヶ月分（令和4年6月・7月・9月・10月分）を全額補助。

2 暮らしの感染防止対策事業

約384万円

◆ ごみ集積所感染拡大防止事業 約77万円

ごみ散乱防止用のネットを配布

◆ 資源リサイクル推進事業 約264万円

資源回収ステーション（リサイクルボックス）を役場敷地内に設置

◆ ごみ排出適正化啓発事業 約43万円

ごみの適正な捨て方を表示する看板を設置

3 公共施設等感染拡大防止対策事業

約2,596万円

◆ 諸証明書コンビニ交付サービス導入事業 約217万円

住民票の写しや所得課税の諸証明書などを身近なコンビニエンスストアのキオスク端末で、マイナンバーカードを利用することで所得できる環境を整備

◆ 神保原駅トイレ洋式化事業 約1,371万円

神保原駅北口及び南口にあるトイレを洋式化

◆ 窓口情報端末設置事業 約55万円

役場窓口を上里町地図情報システムがアクセス可能なタッチパネル設置を事業

◆ 保健センター感染予防対策事業 約165万円

保健センター内の感染予防強化のため、ウイルスレベルの微粒子が除去可能な空気清浄機を導入

◆ 会議等実施におけるデジタル化推進事業 約422万円

介護保険・障害者認定審査会並びに庁舎内会議等のオンライン・ペーパーレス化に伴うタブレット端末等を導入

◆ スポーツ活動安心支援 約246万円

町内体育施設に大型循環送風機を設置するとともに、大会等で多くの利用者が出入りする町民体育館・多目的スポーツホールに非接触型感知器（サーモカメラ・瞬間検温）を設置。また町民体育館出入口を仕切るためのパネルを設置

◆ 総合文化センター感染拡大防止事業 約120万円

事業・イベント実施時に設置される受付窓口用に使用する非接触型感知器（サーモカメラ・瞬間検温）の設置及びベルトパーテーション及び受付用パーテーションの増設とともに、ステージ用のトルーパーテーションを設置

総額 約1億3,883万円